

町長

6月定例町議会が6月28日から開かれました。草村大成町長が所信を表明し、施政方針（町が目指す方向性）を明らかにしました。

施策方針



私は、去る4月24日の町長選挙におきまして、多くの町民の皆様のご支持をいただき、これから4年間の町政を担わせていただくことになりました。この場をお借りしまして深く感謝を申し上げます。今後は、町長としての職責の重さを更と感じながら、町民の皆様との対話を基本として、町政に取り組んでまいりますので、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、私が町長選挙に立候補を決意しました際に、「私が町政を担当することになったときには、高森町をどのような町にしたいか」ということを網羅しました「草村大成の政策集」というものを町民の皆様に見ていただきました。その結果として多くの町民の皆様が私を支持していただいたと思います。これから4年間の町政を進めていく中で町民の皆様にお示した政策を基本としながら、皆様の子ども・孫の代まで「誇れる高森

町」を築いていきたいと考えております。

この「誇れる高森町」づくりのため、私は、6つの挑戦を進めてまいります。

第1点は、「**観光立町を実現するための町づくり**」でございます。このために、観光に関する条例を整備し、人を受け入れる体制づくりをするとともに、基本的な観光客の来客目標数などを設定し、必要な取り組みを進めて行くことにいたします。



その一つとして、魅力ある観光地の形成に取り組めます。

本町には、最高の水資源、天与の恵みである温泉、豊かな自

然環境、先祖から受け継がれてきた伝統文化や文化財などの観光資源が沢山ございます。併せて、本町には優れた農産物もあるわけでございます。また、中心市街地の商店街を魅力ある形にして、活気ある、そして、だれもが歩きたくなる商店街にするための整備強化を含め、これらの活用方法を検討するための協議会、又は審議会を設置し、観光に対する住民の意見を集約いたします。

二つ目として、観光事業の競争力強化と観光振興のための人材育成に取り組めます。

観光協会や商工会、観光事業者などの連携を促進するとともに、ブランド品の開発と販売方法などにも取り組めます。また、高森町固有の文化・歴史等の魅力を引き出せる人材を育成するため、仮称ではありますが「たかもり観光検定」の取り組みを行います。

三つ目として、国際観光の振

興に取組みます。

外国人観光客の受入れ体制を確立するため、インターネット・パンフレット・案内看板等の外国語表記を促進し、町や観光関係団体の語学研修をはじめとする人材育成や外国語に精通した人材のネットワークの構築を促進します。

四つ目は、観光旅行者を増加させる環境整備についての施策を定めます。

「観光の意義」を町民の皆様に理解してもらうため、町民に対する観光広報活動を行いながら、町と観光関係団体との連携による、観光情報の収集と共有化を図り、最大の効果をあげるインターネットやマスコミ等による観光情報の発信を促進します。

観光事業者に対する、仮称ではありますが「おもてなし講座」の実施の促進やボランティアガイドの育成を支援します。

この他にも、必要な取り組みを行い、「観光立町を実現するための町づくり」を実現していく

く所存でございます。

そこで私は、攻める観光、打つて出る観光ということを考えています。

とにかく情報を出す。出しまくる。それによって人を増やし訪れた人との交流が生まれま

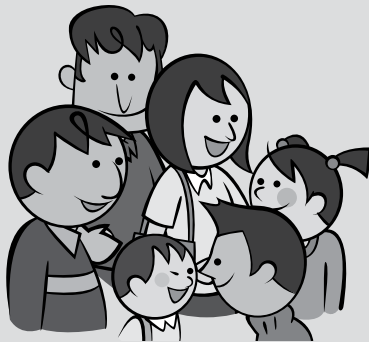
す。そうすると「おもてなし」が必要となつてきます。

そういうものをトータル的に考えて、最初は行政主導がいいと思つています。多少強引でも、観光客が増えればいやでも動かなくてはならない。そういう風になればそこから先はそれぞれのやり方で、産業として成り立つように皆様にがんばっていただきたいと考えています。

また、選挙期間中に申してまいりました食鳥最終処理施設の関係につきましては、最高の水資源・天与の恵みである温泉、豊かな自然環境の維持を掲げております私としましては、快く受け入れられるものではありません。隣接する自治体との共存という意味からもそのように考えております。

第2点目は、「住民とともに 行財政改革を実現する町づくり」

でございます。このためには、住民が自ら地域のあり方を自己決定できる形づくりが必要であります。つまり、住民が参加できる条例が必要となりますので、仮称ではありますが「高森町まちづくり条例」の制定を検討しながら必要な取り組みを進めてまいります。



一つ目は、行財政改革を促進します。

町職員の自主性を発揮できる職場環境づくりを行うとともに、課・係の見直しや専門の民間人の登用を促進します。

各種委員の選任については、実動型を重視するとともに、女性の登用を促進します。

二つ目は、情報公開を積極的に進めます。

熊本県内市町村の情報公開ランキングでトップ10入りを目指します。このためには、「高森町情報公開条例」の見直しを行うとともに、入札方法の見直しも積極的に行います。町長交際の公開につきましては、5月より「広報たかもり」を利用しですでに実施をしているところでございます。

三つ目は、住民提案型の促進と民間視点を取り入れます。

町の事業に対する住民提案を募集し、活用できる形づくりを促進します。

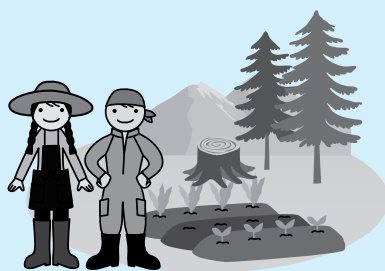
四つ目は、現場主義の行動を率先します。

町長と町民との対話を積極的に行うため、定期的に町座談会の開催を促進します。

この他にも、必要な取り組みを行い、「住民とともに行財政改革を実現する町づくり」を実現していく所存でございます。

第3点目は、「農業に親しむ町づくり」でございます。

このためには、本町の基幹産業である農林業の振興を図るため、必要な取り組みを進めてまいります。



一つ目は、魅力ある・安定した「農業」「林業」を目指します。

町、農業委員会、農協、畜協、森林組合などの連携を強化促進するとともに、農林業の専門職員を育成し、農林業関係団体と連携のもとで、生産から販売まで、本町の形での農家、林業家を支援できる形づくりを検討します。

二つ目は、大規模葉草農園の誘致を積極的に進め、自然環境を維持しながら、耕作放棄地の解消

と山間部の活性化を図ります。

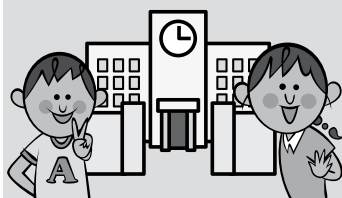
三つ目は、農に親しめる高森町をめざします。

「農に親しめる高森町」をキャッチフレーズとして、体験農園や町民農園の開設を支援し、子どもや学校、観光客に「農」に親しむ場や機会を提供する環境整備を促進します。

この他にも、必要な取り組みを行い、「農業に親しむ町づくり」を実現していく所存でございます。

第4点目は、「思いやりの教育による町づくり」でございます。

このためには、「子どもを育てる環境づくり」そして「子どもが育つ環境づくり」に取り組んでまいります。



一つ目は、子どもの心を育む高森町をめざします。

安全安心な教育環境づくりを促進するとともに、文化施設である図書館の設置を目指します。環境学習プログラムとして緑の学校ファームを促進し、食育などにも活用する所存でございます。

二つ目は、子育てで住みたくなる高森町をめざします。

子育ての支援策として、給食費や保育料など、子育て全般の保護者負担の軽減を検討するなど、支援策の拡充をめざします。

新入学児童への入学祝については、子どもの自主性や考えを尊重するとともに、入学準備に幅広く使用できるよう、従来行われていましたランドセル支給は廃止し、代わりに入学祝金を支給するよう検討をいたします。（ランドセルに限定せず、各家庭の事情に柔軟に対応できるようにします。）

三つ目は、子どもたちの学力

向上・健全育成を推進します。

将来の高森町を担う子どもを育てるため、学習サポーター制度の推進と充実や情報通信技術の活用を促進するとともに、郷土高森町の歴史を知る教育の導入を促進し、子どもたちの幅広い知識の向上を推進します。

この他にも、必要な取り組みを行い、「思いやりの教育による町づくり」を実現していく所存でございます。

第5点目は、「お年寄りが憩える町づくり」でございます。

このためには、お年寄りが安心して、安全に暮らせる環境づくりに取組んでまいります。

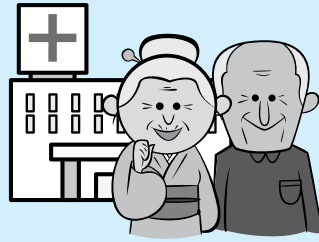
一つ目は、老後も安心して住める高森町をめざします。

お年寄りの利便性を向上させるため、住民参加による協議会で、町民バスのルート・時間などを検討していただき、見直しを行います。

将来の医療費や介護保険の増加を抑えるためにも、先行投資として保健師の増員を行い、特

に、無医地区である草部・野尻地区の高齢者などの家庭訪問による健康指導を増進するよう検討を進めます。

地域医療の核である病院・医院の誘致を積極的に進め、町民の受診環境が更に向上するよう取り組みを進めます。



二つ目は、高齢者・障がい者支援の充実を促進します。

従来、77歳・88歳・100歳の方々に支給されていましたが老祝い金制度を廃止し、70歳以上の高齢者の方全員に毎年、敬老祝い金を支給するように取り組みます。

障がい者の社会参加を増進するため、就労支援について関係団体と連携し、情報発信やネットワークづくりの調査研究に取り組みます。

この他にも、必要な取り組みを行い、「お年寄りが憩える町づくり」を実現していく所存でございます。

第6点目は、「健康とスポーツによる町づくり」でございます。

健康とスポーツの関係は皆様もご存知のとおり、心の健康・身体の健康ともにスポーツ活動は大きく影響しており、スポーツ活動の増進は将来の医療費に大きく影響してくることから、スポーツによる町づくりに取り組んでまいります。



一つ目は、子どもから高齢者までのスポーツによる町づくりを検討実施します。

子どもから高齢者まで参加できる生涯スポーツを実現するため、総合型地域スポーツクラブの促進をするともに、小中学

校におけるスポーツ活動の支援を積極的に行い、新たな視点で施設等の環境整備を検討します。

二つ目は、合宿のまち高森、環境を活かした町おこしを促進します。

スポーツ合宿は地元商業や農業に大きな経済効果をもたらすとともに、子どもたちがスポーツ選手の真剣などを直接見ることができ、スポーツ教育の基礎にもなると考えます。将来、各種目のスポーツ選手などが合宿に訪れるような高森町にするため、町体育協会などと連携して、受け入れ態勢の構築など合宿に適した環境づくりを促進します。

この他にも、必要な取り組みを行い、「健康とスポーツによる町づくり」を実現していく所存でございます。

今申し上げました6つの政策目標を基本として町政に取り組んでまいります。

具体的な行程などはこれからとなりますが、一つひとつ心を

こめて着実に進めてまいります。

以上、今後4年間の町政運営を行っていく所信の一端を述べさせていただきますが、限られた財源の中で、「あれも、これも」ではなく、真に町民の皆様が求めておられる施策を実施していきたいと考えております。

将来の子どもたちに誇れる高森町にするため、私の経験の全てを傾注するとともに、職員の英知を結集して町づくりを進めてまいります。

この他の必要な施策につきましても、議会とご相談を申し上げながら、着実に、そして臨機応変に、スピード感をもって取り組みなければならぬと考えております。いずれにしても一人の力で成しうるものではありません。町民の皆様、議会議員の皆様をはじめ、関係各位のご協力があつてこそ実現できるものであります。何卒、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。私の所信表明とさせていただきます。